

女性の起業チャレンジ応援事業【福島市】

個別事業費	377 千円
交付金額	283 千円

地域の実情と課題

【実情】 女性の労働力(福島県内と福島市内で比較)
 →離職者の1割が出産・育児を理由としている。

【課題】 家事・育児・介護については、依然として女性がその多くを担っており、女性が働きやすい環境づくりや多様な働き方の推進が必要である。

目的・目標

【目的】 起業するために必要な知識の習得、女性起業家や同じ起業の夢を持つ仲間と繋がる機会をすることで、女性活躍の場を広げる。

【目標】 講座受講者数 目標:35名 実績:38名(のべ81名)

事業の特徴

先輩女性起業家(起業姉さん)が起業に関心のある女性(起業妹さん)を応援する「ふくしま起業女子応援パッケージ」として事業を展開する。

- ・チャレンジ講座
- ・プチインターンシップ
- ・起業姉妹カフェ

連携団体

- 福島駅西口インキュベートルーム
- 包括連携協定企業(主に金融関係)
- 日本政策金融公庫
- 福島商工会議所
- 福島県(ふくしま女性起業家活躍推進協議会)
- 福島県信用保証協会

事業の効果

- 受講者数について、目標値35名としていたが、38名が受講し、起業に関心のある女性の意欲的な姿勢が見受けられた。
- 受講者アンケートでは全員から「満足・おおいに満足した」との回答があり、行動変容やネットワーク構築のきっかけとなることで女性活躍の一端を担うことができた。

今後の課題

- 受講者は起業に向けて少しずつ行動する様子が伺えるが、実際に起業することは大きな決断が必要となることから、数年単位での支援の必要性がある。内容等、中長期的支援をどのように行っていくか検討が必要である。
- 申込時点と比較すると、実際に参加する受講者数の割合は68%であり、申込時の意欲から参加当日までのモチベーションをどのように継続させるかが課題である。

姉妹のようにつながる起業チャレンジ [チャレンジ講座]

実施日 8～10月(計3回)

内容 [チャレンジ講座](3回)

- ◆自分のキャリアを振り返りビジネスアイデアを作ろう
- ◆起業手続きまるわかり 起業プロセス
- ◆女性起業の第一歩！ブランディングとスマホ発信の実践

講師 ◦キャリアコンサルタント 重巢敦子さん
◦中小企業診断士 相馬由寛さん
◦株式会社FREES CASE
代表取締役 門澤真由美さん

受講者数 のべ50名



姉妹のようにつながる起業チャレンジ [起業姉妹カフェ]

実施日 9～10月(計3回)

内容 [起業姉妹カフェ](3回)

- ◆先輩女性起業家との交流・仲間づくり
- ◆オトナの社会科見学
- ◆双子のようにつながり起業をステップアップ

講師 ◦市内の先輩女性起業家
◦ふくしま女性起業家活躍推進協議会 会長
受講者数 のべ31名

[プチインターンシップ]

補助スタッフとして先輩女性起業家の店舗等で接客や仕事の流れ等を学ぶとともに、その場で感じた疑問をすぐに質問できる機会を提供した。

実施日 9～2月(5回)

内容 ハンドメイド制作、キッチンカー、飲食店、お菓子調理等の準備・作業補助・後片付け・見学 等

体験者数 5名